



認知症疾患医療連携研修会 開催報告

日時：令和3年10月8日（金）18：00～20：00

場所：北見赤十字病院 北館3階 大会議室

VR 認知症体験会

Web 会議システムを活用し、会場とファシリテーターをオンラインで繋ぎ、VR機材を付けて3つの認知症の症状が体験できる研修会を開催いたしました。

例年よりも定員数減、感染症対策を徹底し、地域の医療・介護・福祉に従事する関係者50名に参加していただきました。

VR機材を1人1台装着し、視空間失認の症状を体験する「私をどうするのですか？」、レビー小体型認知症の

幻視を再現した「レビー小体病幻視編」、電車内で降りる駅がわからなくなる状況を体験する「ここはどこですか？」の3つの認知症の症状を体験しました。初めてのVR体験に驚きの声が多く聞かれました。

VR体験以外にも体験会を運営するシルバーウッズの黒田氏にファシリテーターとして司会進行をしていただき、体験後にグループディスカッション、当事者インタビューの視聴等もありました。



終了後のアンケートでは、「当事者が何を見て何を感じているのか実際に体験することで理解が深まった」「“大丈夫”という言葉の無責任さを感じた」「幻視によって、どうしてご飯が食べられないのか、どうして電気を付けられないのか、やっと理解ができた」「本人の言葉にもっと耳を傾けたい」「自分の対応を振り返ることができた」等の感想があり、明日以降の業務に繋がる学びがあったようでした。

VRを使用した研修会を初めて開催し、参加者はもちろんのこと、担当者も貴重な体験となりました。好評の声を多くいただくことができましたので、今後も参加者のニーズに応じた実践に活かせる研修会を企画していきたいと思っております。

（認知症疾患医療センター事務局 垂石記）

